WEEKLY REPORT 第1015回 平成24年4月5日号

佐世保中央ロータリークラブ週報

第2740地区 佐世保中央ロータリークラブ 創立：1990年9月29日 認証：1990年10月22日

■事務局住所：〒857-0872長崎県佐世保市上京町3-2セントラルホテル佐世保419号室 TEL.0956-25-5595 FAX.0956-25-3445 Mail.chuo-rc@theia.ocn.ne.jp

会 長：田代 博之／副会長：富永 博美／幹 事：八重野 一洋

2011~2012 年度クラブスローガン

念ずれば花ひらく
楽しもうロータリー

国際ロータリー 2011~2012 年度テーマ

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

本日の出席率７３．８%：会員数４３名・出席３１名・欠席１１名・出席規定免除会員（１） ０名・ビジター２名
前々回の修正出席率１００%：出席３５名・メークアップ７名・出席規定免除会員（１） １名

会長挨拶・田代 博之君



皆さんこんにちは。先週の土曜日に父の１７回忌の法要をしました。早いもので亡くなって丸１６年が経ちました。終わってから父の一党の我々兄弟家族３３人で嬉野温泉に泊まりに行きました。父にとっての曾孫の数を数えると１０名いました。その子供たちが宴会の間、周りをぐるぐる走り回っていました。２５年前に私の祖父の１３回忌を行いました。そのときもみんなで夜宴会をしましたが、私の子供たちの世代が、走り回っていました。そのときの子供たちが親になり子供を連れてきていたのです。ぐるっと一世代が回ったのをつくづくと感じました。

さて今日第１０回理事会が開催されます。後理事会も３回になりました。協議審議事項も少なくなってきています。ちょっと寂しい気持ちになってきておりますのが理事のみなさん最後までの参加をお願いします。いつも理事会の打ち合わせを理事会のある前の週の例会前の１１時から行っています。そのとき理事会の内容をいろいろ話し合うわけですが。先週は３０分で終わってしましました。最近は全てを幹事に任せています。やっと幹事らしくなってきたのではないかと思います。はじめのころは１１時に約束していても必ず遅れてきていました。ところが最近は１１時に行くともう来ています。話す内容も最初のころはいろいろな問題点を指摘してこれどうなっていると聞いていましたが。今はほとんど報告を聞くだけになってきました。幹事も幹事を終わるころにやっと幹事らしくなるのではないかと思います。一番の問題は会長です。いろんな問題ありの会長でしたがどうでしょうか。会長幹事交代式のときにいろんな話を聞けたら有難いと思います。

二人で打ち合わせをしているとき、あと残っているプログラムの確認をしました。本当に先が見えてきました。いよいよ着陸態勢に入ってきたという感じです。しかし一番危険なときでもあります。最後まで気を引き締めてやっていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

成功の法則その３７
立場が人を作る

先ほど幹事も終わるころにやっと幹事らしくなるという話をしました。始めのころは知らないことばかりです。いろんな指摘を受け、立場上やらなければいけない仕事をこなしていくうちに幹事らしくなっていくのではないかと思います。最後は皆さんに良かったと言われる会長、幹事を目指して最後まで頑張りたいと思います。

本日のビジター紹介

佐世保南ロータリークラブ 吉田 孝生様
ハウステンボス佐世保ロータリークラブ 加城 一成様

Report 幹事報告・八重野 一洋君

１．例会変更
ありません。

２．来　　信
・国際ロータリー
ザ・ロータリアン　３月号
・ガバナー事務所
「２０１２～１３年度ロータリー財団地区補助金」申請期限延長のお知らせ　期限４月末
・ガバナーエレクト事務所
次年度地区 会員増強委員推薦のお願い
・佐世保東ロータリークラブ
①佐世保市内８ＲＣ親睦ゴルフ大会のご案内
②創立４５周年記念式典・祝賀会のご案内
・佐世保東南ロータリークラブ
２０周年記念式典のご案内
・陸上自衛隊相浦駐屯地
「観藤会」のご案内

３．伝達・通信
・４／７ 地区大会の件
・本日例会終了後、第１０回理事会を開催します。

週報制作：出席・会報委員会／芥川 浩一郎、西村 浩輝、四元 清安、浅野 訓一、後田 明子、馬場 貴博

委員会報告

井上 亮 中央会会長
　市内８ロータリー親睦ゴルフ大会について
来月５月20日（日）８：４５スタート
参加費：１万円
幹事：佐世保西クラブ
団体戦：各クラブ上位５名の平均
個人戦：59才以下、60歳以上、70歳以上、80歳以上
※中央会も合わせて行う予定です。

ニコニコボックス

担当：池永 隆司君

ハウステンボス佐世保ロータリークラブ　加城 一成様
　久しぶりに例会訪問させていただきます。ハウステンボスにも是非お越しください。

田代 博之会長・富永 博美副会長・八重野 一洋幹事
　皆さんこんにちは。３日、火曜日は台風かと思われる程の強風が吹きましたね。被害などはなかったでしょうか？ガラスが割れて困った方は是非（株）タシロ又は溝上産業へご相談ください。来週は釜山蓮山ＲＣ公式訪問の為、例会は休会です。張り切って行ってまいります。７日（土）の地区大会も宜しくお願いします。パワーアップニコニコします。

富永 博美副会長・八重野 一洋幹事
　１２月、仙台に行った際に私と富永副会長のＡＮＡカードが入れ替わったお話を先月させていただきました。富永副会長曰わく「カンボジアで使おうとしたら名前が違ったので、カードは使ってないよ」とのご報告でした。が先週、自宅にカード明細書が届き、中身を見ると２／２０サーティーフォー（Ｇパン屋）で２７，０００円の高級Ｇパンを購入されていたのが判明しました。犯人は副会長でした。無事に解決したので、副会長と共にニコニコします。

会報・出席委員会（浅野 訓一・芥川 浩一郎・四元 清安）
　本日の卓話は会報・出席委員会の時間です。委員会全メンバーで分担して話をさせていただきます。よろしくお願いします。

西村 浩輝君
　３月２９日の山澄公民館での能楽師 友枝雄人先生の講座に出席された方には感謝申し上げます。多くの方に興味を持ってほしいと思います。ありがとうございます。

指山 康二国際交流委員長
　３月３１日から３日間、孫４人を含めて総勢１１人で京都と大阪ユニバーサルスタジオに行って来ました。妻の還暦祝いと２人の孫の小学校入学祝いと私の誕生日祝いを兼ねて、指山ファミリーツアーバスを貸し切っての楽しい旅行でした。来週からは釜山蓮山ＲＣ公式訪問に１９名で行って来ます。トンドファンタジーコンドミニアムに泊まります。桜も満開だと思います。飲み過ぎないように気をつけて、楽しいツアーにしましょう！

田端 茂君
　山瀧さん、先日は大変お世話になりました。ごちそうしていただいた分を船番所に支払わなくて代金の一部をニコニコします。

前田 眞澄君
　明日、娘の大学の入学式です。今週、日曜日から現地へ行っているのですが、電話もありません。「生きてるのかしんでるのか、メールでもいいから返事しろ」とメールを入れたら、一言「生きている」と返ってきただけでした。無事が確認できましたので、ニコニコします。

本日の合計	32,000 円
本年度の累計	635,000 円

本日の卓話

■ 雑誌月間に因んで ■

浅野 訓一 会報・出席委員長
ロータリージャパンのウェブサイトより
　『ロータリーの友』の発行部数は、９万６６００部（２０１２年３月号）です。発行部数が一番多いときは、約１４万部発行していましたが、日本の会員減少に伴い、年々発行部数は減少しています。価格は２１０円（本体２００円　消費税１０円）です。本体価格２００円というのは１９７５年１月号からで、今日に至るまで、コストの見直し、新しい技術の導入などにより、価格は据え置かれています。

　１９５２年７月、それまで１地区だった日本の地区が２地区に分割されました。分割後もお互いの地区のクラブや会員の活動状況、意見を知りたい、共有したいという思いがあり、両地区に共有の雑誌の発行が決まりました。それが『ロータリーの友』です。創刊は、１９５３年１月号。最初は横組みだけでした。横組みと縦組みが分かれた現在のような形になったのが、１９７２年１月号からです。現在、横組みには、ロータリーの特別月間に関する特集、ロータリー地域雑誌としての公式的な記事を中心に掲載されています。縦組みは、日本のロータリアンのコミュニケーションの懸け橋となる記事が掲載されています。投稿が中心です。

　１９７９年７月号からの１年間の試験期間を経て、１９８０年７月号から、『ロータリーの友』は、国際ロータリーの公式地域雑誌になりました。現在は、この呼方が変わり、「ロータリー地域雑誌」と呼んでいます。『THE ROTARIAN』というＲＩ本部で編集・発行している国際ロータリーの機関誌と、30の地域雑誌を合わせて、「ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS」と言います。

　日本のロータリアンは、『ロータリーの友』が、国際

ロータリー（ＲＩ）の公式地域雑誌に指定されるまでの間、『THE ROTARIAN』と『ロータリーの友』の両方を購読していたことになります。

さて、地域雑誌には守らなければならないいくつかの規則があります。その一つが『THE ROTARIAN』の記事で、指定されたものを翻訳して掲載しなければというものです。これらの記事を「ＲＩ指定記事」と呼んでいて、タイトルの部分にロゴマークが入れられています。

各雑誌の発行国、発行部数などは、『友』誌４月号横組み Ｐ６～７に掲載されています。地域雑誌で最大の発行部数は『ロータリーの友』ですが、発行部数２位のインドの『ROTARY NEWS』が年々迫ってきています。

芥川 浩一郎 君



雑誌月間とのことで、思いつくままに、過去を振り返り、中央ＲＣにて２１年、その前に南ＲＣに１６年間在籍いたしておりますが、３７年間の在籍担当委員会は、「週報委員会」が半分ぐらいを占めています。
私が、慶応義塾大学在籍中に、「三田新聞」に所属して、学生新聞の作成と販売を経験して、神宮球場にての「早慶戦特集号」を売りさばいて、球場内を新聞売りに熱中したからだと思います。

１９６８年商工会議所議員に当選して、３３年間議員生活を致しましたが、安楽さん（ＮＢＣ支局長）と最初の「会議所だより」を発行して、今日の「会議所だより」の「基礎を」創りました。中央ＲＣでも、週報担当が多く、今、３年間継続の「出席・会報委員会」に配属されています。記事を書くことになれているので、「いやだなー」と感じたことはありません。

１９９７年から、ＰＣの Windows95OS を活用して、作文をしているので、作文がペーパーレスになり、ＰＣそのものも、私の一部分と同じ感じで、毎日を過ごしております。雑誌月間のご案内になれば「幸い」です。

西村 浩輝 君



４月はロータリー雑誌月間ということで、ロータリーに関する雑誌からの記事を紹介して下さいと委員長から声が掛かりました。この１、２年の「ロータリーの友」を引っ張り出し、もう一度見直してみました。興味のある記事には目が留まります。

その中の一つの記事で、狂言師の野村 萬さんの記事は興味深く読ませていただきました。能、狂言６５０年余りの伝統の中で、修練を重ねて型にはまり型を越えようと努め、その時代の新たなものを生み出す伝統はすばらしいと思います。

能楽師のロータリアンもいらっしゃいます。玄人の方の記事も「卓話の泉」の中にも観ることができ、子供達への能楽体験講座も「ロータリーアットワーク」の中で探すことができました。能はまず体感することです。ありがとうございました。

四元 清安君



会員の皆さんもご存じの方は多いと思いますが

・創立者ポール・ハリスがなぜロータリーを創立したか。
戦前中国に行く船旅の途中日本に立ち寄った際、日本のロータリアンから熱烈な歓迎を受けました。その時の数多くの質問の中の一つに「あなたは、なぜ ロータリーを始めたのですか」という問いに「寂しかったから」と答えたことは有名な話です。

・ポールハリスは田舎から出てきてシカゴという大都会で弁護士を開業しますが、仕事柄、知人は多くできますが、友人と呼べる人はなかなかできない。田舎から出てきて、友人がおらず寂びしい思いをしてる人が大勢いるのではないか、親しい友人の集まりとしてロータリークラブを作ることを決心したとあります。

・ロータリーは、例会への出席を重視します。ロータリークラブは知人の集まりではなく友人の集まりです。それがロータリーの基本的な考えです。会員の出席率の低下が日本のみならず世界のロータリーの会員数の減少につながっていると考えられています。

・求めよ、さらば与えられん（これはヨーロッパのことわざ）
新約聖書には「求めよ、さらば与えられん。尋ねよ、さらば見出さん。門をたたけ、さらば開かれん」とあります。
この意味は、「求めなさい、そうすれば欲しいものは与えられます。探しなさい、そうすれば探しているものは見つかります。門をたたきなさい、そうすれば入りたい門は開かれます。自ら行動を起こさなければ、何も得られない」という教えです。

ロータリークラブは異業種の人達の集まりでもあります。仕事にしろ人生にしろ、みずからの人生の勉強にこれを利用しない手はないと思います。しっかりと皆さんと切磋琢磨して行きたいとおもいます。宜しくお願いします。

ＳＡＡ：福田 英彦君／音響：鶴田 明敏君
次回例会／４月１９日１２：３０～
次回献立／ビーフカツ、サラダ、コンソメスープ